

# 富津市公共施設等総合管理計画

(抜 粋)

平成28年3月

富 津 市

## 第1章 計画の概要

### 1 背景・目的

一般的にハコモノと呼ばれる公共施設は、経済成長を背景に人口増加に比例するかたちで整備されてきており、本市でも昭和40年代後半から50年代後半にかけて整備が集中している状況です。これらの施設は、近い将来一斉に老朽化し、更新の時期を迎えることになり、道路・橋りょう等のインフラを含めた社会資本の更新に膨大な財政負担が必要となってきます。

また、これに重ね合わせるように我が国は、総人口が減少に転じ、今後、施設は過剰になるとともに、財政資源となる税収の増加は見込めないことが予想されます。

このような中、国も地方も社会資本の更新を行うことに関し、計画なくして進めることは考えられません。

これに関連して平成26年4月22日に総務省から全ての自治体に対し、保有する公共施設、道路・橋りょう等といったインフラ（以下「公共施設等」という。）の状況、更新費用の見込みと基本的な方向性を示した、公共施設等総合管理計画の策定要請がありました。

「公共施設を再配置する」ということは、住民の身近にある公共施設の在り方を根本的に見直すことであり、それは、時として、住民生活に大きな影響を及ぼす場合があります。しかし、厳しい財政状況が続く中、次世代への負担をできる限り軽減し、平準化するためにも、公共施設の全体を把握した上で、長期的視点をもって、更新・統廃合・長寿命化等の公共施設再配置を着実に実行していく必要があります。

そこで、今後の公共施設再配置に向けた本市の取組の基本的な考え方を示すものとして、「富津市公共施設等総合管理計画」を策定します。

#### (4) 子育て支援施設

保育所は、今後の児童数や民間施設の状況、地域のバランス等を踏まえて、統廃合を検討します。

図4 子育て支援施設

